

2026/10/26 公開

はやし動物病院 林圭子 獣医師

大阪市東淀川区に平成元年（1989年）に開業。

「動物にも人間と同じくらいのきめ細やかな診療を」をモットーに日々診療にあたっております。

家族の一員である動物との楽しく健康な毎日のために、いろいろな角度から、多様な治療を心がけております。

日本ペット中医学研究会 -JPCM- 会員病院 中医学担当獣医師を紹介します

日本ペット中医学研究会で中医学を学んでいる獣医師を紹介するシリーズです。

『漢方（中医学）との出会い』『漢方（中医学）の良いところ』『ひと言メッセージ』で自己紹介しています。



林 圭子（はやし けいこ） 獣医師 （はやし動物病院）

『漢方（中医学）との出会い』

もともと院長が中医学に興味を持っており、少人数の勉強会に参加していたりしたのですが、院長の勧めで私が引き継ぎ、当時、獣医東洋医学会という名称の小動物臨床鍼灸学コースに参加したのがきっかけです。

中医学の基礎理論から始まり臨床に至るまで幅広い内容で、とても重厚で、興味深く感じました。

その後、北京での鍼灸セミナーで日本ペット中医学研究会に出逢いました。

そして臨床を重ねていくにつれ、鍼治療とQUANPOW製剤はとても相性がよい事が分かってきたのでした。

『漢方（中医学）の良いところ』

まず、よく言われる事ですが、動物の身体全体とその環境を見るという事です。

西洋医学では診察→検査→病名（場所）→処方（治療）という流れですが、中医学では病名重視ではなく、病に至るまでの過程（習慣、食事、性格、環境など）から始まり四診（望、聞、問、切）・検査を経て一人一人の体質を加味して処方されるところです。

また病のステージにより処方を変化させていくところ、治れば終わりではなく、養生（予防）という形をとるところも良いところです。

『ひと言メッセージ』

私は一診療あたり一時間の予約の枠を取っており、主に神経疾患の鍼灸治療を行っております。

その間、動物を挟んで飼い主様と様々なお話しをしながら、動物をじっくり見たり触ったりしながら治療します。

そして回を重ねる毎にその子の病状、環境、性格、習慣、飼い主様とのかかわり方などを知ることが出来、それが治療の方針や理解にとても役立っています。

会員病院紹介ページはこちら → はやし動物病院